

4.一次単価ファイル

⑥他

a.補正市場単価を作成する際の留意点

補正市場単価を作成する際の留意点について説明します。

細目名称に「補正算出用」と記載されている労務単価は、補正市場単価を作成する際に使用する労務単価です。

The screenshot shows a software window titled '一次単価 労務単価'. It contains a table with columns for '項目' (Item), '単位' (Unit), '標準単価' (Standard Price), '補正' (Correction), '労務' (Labor), '備考' (Remarks), '原単位' (Base Unit), and '入力' (Input). A red box highlights a row where the '項目' column contains '補正算出用' and the '労務' column contains '労務単価'. A callout box points to this row with the text '補正市場単価を作成する際に使用する労務単価'.

公共建築工事積算基準等資料の「附表 補正市場単価算出方法」では、「2. 労務単価」に「市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。」と記載されています。

The screenshot shows a document titled '補正市場単価作成上の留意点 (公共建築工事積算基準等資料より抜粋)'. It contains the following text:

歩掛りによって、補正市場単価を作成する場合は、以下の点に留意する。

1. 材料単価および価格

市場単価の採用都市と同じ採用都市の材料単価及び価格を使用する。ただし、採用都市において材料単価及び価格の掲載がない場合は、複合単価作成時の材料単価及び価格採用の方法によるものとする。
2. 労務単価

市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。

【補正市場単価を採用する場合の採用都市労務単価の採用(例)】の左側が刊行物に掲載されている市場単価の採用都市で、

The screenshot shows a table titled '【補正市場単価を採用する場合の労務単価の採用(例)】'. The table has two columns: '市場単価' (Market Unit Price) and '労務単価' (Labor Unit Price). The text above the table states: '市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。'

市場単価	労務単価
札幌(北海道)	北海道
仙台(東北)	宮城
東京(関東)	東京
新潟(北陸)	新潟
名古屋(中部)	愛知
大阪(近畿)	大阪
広島(中国)	広島
高松(四国)	香川
福岡(九州)	福岡
那覇(沖縄)	沖縄

(公共建築工事積算基準等資料より抜粋)

右側が市場単価採用都市に対する採用県労務単価です。

市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。

【補正市場単価を採用する場合の労務単価の採用（例）】

市場単価	労務単価
札幌（北海道）	北海道
仙台（東北）	宮城
東京（関東）	東京
新潟（北陸）	新潟
名古屋（中部）	愛知
大阪（近畿）	大阪
広島（中国）	広島
高松（四国）	香川
福岡（九州）	福岡
那覇（沖縄）	沖縄

(公共建築工事積算基準等資料より抜粋)

国土交通省の考え方に準拠して計算を行う場合は、この表に当てはめて労務単価の入力を行う必要があります。